

## 令和7年度「立科町ががんばる地域応援事業」の採択状況について

○この事業は、地域の活性化及び協働のまちづくりを推進するための地域づくり活動に対し、町が補助金を交付するものです。

○今年度も多くの申請をいただき、次の17事業が採択されました。(第2次審査終了時点)

### 実施団体及び事業名一覧

No.	実施団体名	事業名	事業年数	概要
1	JA佐久浅間株式会社アメック	国道142号線JA立科給油所前歩道の花いっぱい運動	10	R142号沿いJA立科給油所前の歩道にある花壇を整備することで、観光客及び地元の人々の目を喜ばせる。
2	カントリーロード花ぐみ	花の道づくりと自然活用学習会	9	「立科町には花と風がよく似合う」をキャッチフレーズに主要道路沿い花壇2カ所の整備を実施し町の景観づくりをすすめる。花のある暮らしと地域の伝統文化・食文化を学習し、持続可能な美しい町づくりを実施する。
3	西町桜の会	西町桜の会	9	桜並木の景観保護。コミュニティを形成し、地域の担い手、人材の育成を図っていく。
4	芦田城址保存会	芦田城址の景観保全・歴史継承プロジェクト	8	立科町指定文化財の「芦田城址」は、未整備の期間が長くなったことで荒廃地となり、竹林が広がり展望も出来なくなり、藪で遠目から看板も確認出来なくなった。そのため、新たに団体を設立し、保存活動、整備活動、歴史継承活動をおこなっていく。
5	たてしな蕎麦味会	そば打者の育成及び蕎麦食普及事業	7	立科町は蕎麦の特産地化を推進しているため、町内産のそばを活用し、蕎麦の打ち手を育成し、地産地消の実現に寄与する。
6	野労会	樹木草花による地域美化	6	立科町の佐久市からの入り口、142号野方・茂田井・芦田地域を樹木草花で美化し、町のイメージアップにつなげる。
7	さわやか立科「梅」プロジェクト	さわやか立科「梅」プロジェクト	6	「梅はその日の難逃れ」と言われるほど身体によい効果がある梅。捨てられてしまう梅を有効活用し、高齢施設や保育園、小中学校等に配布する。
8	ふれあい演劇会	演劇講座「みんな輪になれ」	6	子どもから高齢者まで皆で台本をよみ、声を出すことを学び、町の文化祭にあわせ、一つの演劇を仕上げていく。
9	子どもの居場所「ポプラ」の会	子どもの居場所「ポプラ」	4	空き店舗を利用して子どもの居場所づくり、見守りをする。学校帰りの子どもたちが外で親やバスを待っている現状の対策として行い、又仲間づくりや地域の人たちとの交流を深めることに繋がる。
10	蓼科の里ひまわりプロジェクト	ひまわりで町をいっぱいにしよう	4	コロナ禍において、町の各所に明るい元気なひまわりを咲かせ、高齢者まで一緒に作業又はお花見を行い交流する。荒地対策、健康油で皆が元気になり、また観光振興にも寄与する。

11	白樺高原音楽祭実行委員会	白樺高原音楽祭「クリスピージャム」	4	多くの音楽愛好家の発表の場を設けることで地域住民との親睦や絆づくりに繋げる。本格的な音楽家の演奏を鑑賞することで、豊かな情操と人間性を養い、音楽文化の発展に寄与する。
12	外倉りんご研究会	外倉りんご研究会	3	りんご生産者の仲間で、りんご研究会を発足させて、りんご生産だけでなく、りんごの魅力を高めていく。りんごの加工、スイーツの開発試作を通して地域の活性化を図っていく。
13	立科町そば生産組合	立科産そば普及拡大事業	1	立科町産のそばの知名度を上げることにより玄そば販売単価の向上に繋げ栽培者仲間を増やすことにより、荒廃地解消も図れブランド化を狙う。
14	少年サッカー育成プロジェクト	少年サッカー育成プロジェクト	1	町のスポーツ少年団にサッカーがないため、サッカーを通じて子どもたちの絆とサッカーの魅力を伝える。指導者も少ないため、教室を通じて指導者の育成も行う。
15	白樺高原の未来を考える会	高原景観整備と樹木草花による美化活動とフォトスポットの制作	1	白樺高原地域の遊歩道整備と水路の清掃、樹木草花による景観整備でリゾート地としての価値をさらに高める。フォトスポットの制作により来訪客の心に残るリゾート地を目指す。